研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 2 年 5 月 2 5 日現在

機関番号: 12601

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2017~2019 課題番号: 17K02310

研究課題名(和文)日本絵画の復元研究における復元根拠の再検討

研究課題名(英文) Reexamination of the grounds for reproduction in the reproduction study of the Japanese painting

研究代表者

鴈野 佳世子(KARINO, KAYOKO)

東京大学・史料編纂所・特別研究員

研究者番号:40570065

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 2,100,000円

研究成果の概要(和文):本研究は絵画の復元工程のうち、特に復元根拠の選定に焦点を当て、調査とワークショップを通して問題点の指摘と解決を図った。ワークショップには若手研究者や学生らの継続的な参加が見られ、人的交流が深められた。調査・取材・ワークショップの機会を通して復元制作現場や研究機関とのつながりも広がり、美術史研究者と実技系研究者、保存科学者らが共同で取り組んだ復元研究事例の研究会を開催した。 研究者が分野を越えて絵画の復元について論議し、復元研究の学術的水準の向上を目指す協力体制を構築するこ とができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義 現在、絵画の復元は様々な目的・手法により数多く制作されているが、学術的な方法論の構築と研究者間の意識 の共有が不十分であるため、復元の水準の格差が大きく、鑑賞者にも正しい情報が伝わりにくい状況となってい る。今後、文化財保存や教育普及、文化外交、美術史研究など様々な現場で、絵画の復元研究はさらに重要な意 義を持つことが予想されるが、本研究では復元研究や復元制作、公開を担っていく研究者、実技者、科学者、博 物館関係者らのネットワーク作りに寄与することができた。

研究成果の概要(英文): This study focused on the choice of among the reproduction processes particularly the reproduction grounds of the painting. We planned indication and the solution to problems through an investigation and a workshop. A young researcher and continuous participation of students were seen in a workshop, and a personnel exchange was deepened. The connection with the reproduction production site and the research institute also spread through an investigation, coverage and a chance in a workshop, and an art history researcher, the actual technique system researcher and preservation scientists held the seminar of a restoration study case which wrestled jointly. The researchers were able to discuss the reproduction of paintings across disciplines and establish a cooperation system to improve the academic standards of reproduction research.

研究分野: 美術史・文化財保存学

キーワード: 復元 文化財保存学 保存修復日本画

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

様 式 C-19、F-19-1、Z-19(共通)

1.研究開始当初の背景

日本絵画の復元は他の有形文化財の復元(復原)に比べ、未だ研究の土壌が整っていないと言える。文化財保存学の観点からは大学や博物館等において科学調査・学術的考証を経て伝統的な技法材料を用いて制作される復元模写研究が進められているが、一般的にはテレビ番組や観光施設で目にする復元された色鮮やかな絵画が〈復元〉のイメージとして先行している感があった。公開されたイメージは一人歩きし、見る者に「制作当初はこうであった」と強く印象付けてしまうが、美術史研究者などの専門家にはあくまで創作物と見なされ、研究資料としては軽視されがちなのも事実である。日本絵画の復元が単なるエンターテインメントや展示媒体としてだけでなく、学術研究の成果としても意義を持って活用されるためには、復元のさらなる質の向上と制作者側の自発的な情報発信が望まれると考えられた。

応募者は絵画の復元に関する実情を把握するため、2014年~2016年度、科学研究費基盤研究(C)26370126「日本絵画の復元に関する基礎的研究」に取り組んだ。復元に携わる研究・教育機関や企業、工房への取材を中心に基礎調査を進め、並行して美術史・実技・科学研究者のネットワーク構築および相互理解の促進を目的として、日本絵画の技法材料・科学調査・史料の利用等をテーマとしたワークショップを企画した。本研究は、この基礎研究から更にテーマを絞り、研究の深化を目指したものである。

2.研究の目的

現在、絵画の復元は様々な目的・手法により数多く制作されているが、学術的な方法論の構築と研究者間の意識の共有が不十分であるため、復元の水準の格差が大きく、鑑賞者にも正しい情報が伝わりにくい状況となっていた。そこで、本研究では絵画の復元工程のうち、特にく復元根拠>の選定に焦点を当て、調査とワークショップ開催を通して問題点の指摘と解決を図ることとした。美術史・実技・科学の研究者が分野を越えて絵画の復元について論議し、復元研究の学術的水準の向上を目指すとともに、復元報告書の内容改善や公開、復元作品の展示手法についての検討も進めた。

前述の基礎研究を通して、復元制作の実作業を担う実技者と歴史学的考証を担う美術史研究者の間で、往々にして意識や価値観の相違が見られることがわかった。実技者は復元に対しても創作意識が高く、表現性や美的・技術的な問題を優先しがちであるが、学術的な復元に際して歴史学的考証は必要不可欠である。歴史的に相応しい材料の選択、参考とする史料・資料の選択と利用方法の判断には、歴史学や宗教学、有職故実等の知識が必要となる。美術史など史学研究者と実技者の意思の疎通ができていなければ、互いの意見を作品に反映させることは難しく、結果として偏った判断に陥る危険性がある。本研究では研究会やワークショップを通じて、学術研究者が実技や材料についての知識を深め、同時に実技者が技法や表現について的確に言語化して伝えることで、復元の妥当性をより高めることを目指した。

3.研究の方法

本研究では多分野に跨る視点から絵画復元事例の復元根拠についての調査、文献資料(史料)や画像資料(史料)の復元への活用法の検討を行い、絵画復元における復元根拠の選定について問題点の指摘と改善案の提示を行った。また、絵画復元に関するワークショップを通して他分野の研究手法や復元を取り巻く問題について理解を深め、若い世代を中心に人的交流を深めた。

研究会では復元の具体的な事例を取り上げ、その復元根拠の妥当性について議論し、現在進行中の復元制作および今後復元制作が予定されている作品についても、復元根拠の選別方法を検討していった。復元根拠についてはその選別判断と同時に、復元完成後の情報公開の問題も重要である。復元根拠を明確に示した報告書は未だ少なく、本研究では過去の代表的な復元事例についても遡って復元根拠を調査し、復元制作における情報公開のあり方についても改めて見直した。また、ワークショップでは実際の復元根拠となる史料や技法材料をテーマとし、実技者と研究者が互いの専門分野についてモノに触れながら理解を深める機会を提供した。

4. 研究成果

(1)画像資料の復元への活用法の検討

日本絵画の復元研究において復元根拠として活用される画像資料に着目し、美術史研究者が 長年に渡って蓄積したポジフィルムのデジタル化に取り組んだ。特に近年になって解体修理が 行われた絵画作品については、修理前の画像情報や修理時に実施された科学調査結果が復元に 際して重要な資料となるため、資料の散逸を防ぎ、画像撮影時期などの情報整理を適切に行って 保管していくことが求められる。美術史研究対象として注目される絵画作品は複数回調査され ていることが多く、各研究者や研究機関が所有する画像資料を総合的に参照できるシステムが 必要と考えられ、本研究を通してそうしたデータベースの基盤構築を進めることができた。

デジタルアーカイブを進めた画像資料に関しては代表者、分担者、研究協力者の間で共有した上で、経年劣化や改装の影響で画面・形態に変化が生じた作品の記録的画像や、摸本・粉本、絵図、挿図、古写真などの資料を復元根拠として利用する際の問題点や留意事項を確認し、的確な活用法を検討した。また、絵画作品の修復前後の画像比較や点在する調査画像の統合を進め、復元根拠として有効な情報を抽出・整理することができた。

(2)絵画復元の技法材料選択に関する調査

文化財の復元・複製技術に関して、実制作や研究を進めている実技系大学、工房、研究機関等を訪問し、復元根拠の選択や実際の制作手法について取材を行った。復元・複製技術の変遷や現状と課題を把握するとともに、復元制作に携わる実技系研究者や、監修に携わる美術史研究者らと連携を図り、最終年度の研究会開催に繋げることができた。

(3)絵画復元に関するワークショップ・研究会の開催

本研究の前身となった科研基盤(C)26370126「日本絵画の 復元 に関する基礎的研究」では、復元に関わる各分野のテーマを取り上げワークショップを開催してきたが、本研究においても企画を継続実施した。画家・美術史研究者・科学研究者・修理技術者・学芸員など、様々な立場で復元に携わる人を対象に、それぞれの専門分野について理解を深めるためのワークショップを開催したが、これは研究活動の早い段階から他分野との連携意識を高め、多角的な視点を持った研究者の人材育成につなげることを目指したものである。内容は一般向けのワークショップに比べて専門性を高め、且つ大学の座学講義では実施が難しい実演や実習を交えることで、各専門分野について体験的な理解を促した。

初年度は共立女子大学にてワークショップ「復元研究と技法材料」を開催し、代表者と分担者がそれぞれ「日本絵画の復元における技法材料の重要性」「絹本仏画の技法と表現」という題目で口頭発表および実演を行った。美術史を専攻する大学生・大学院生をはじめ若手研究者等 40名ほどの参加があり、日本絵画の材料に直接触れてもらう機会を提供することができた。

次年度は同じく共立女子大学にて「障屏画の復元 - 図様と形態 - 」というテーマで研究発表およびワークショップを行った。「縮図からの想定復元研究 天瑞寺室中旧障壁画「松図」の想定復元制作を通して 」および「十二ヶ月屏風の趣向 勝川春章「婦女風俗十二ヶ月図」(MOA 美術館蔵)の想定復元模写を通して 」という2件の研究発表のほか、屏風の紙蝶番の構造を理解するためのワークショップ「ミニ屏風を作ろう」を実施し、参加者に障壁画の復元や屏風の復元、機能に関する理解を深める機会を提供することができた。

最終年度は美術史研究者と実技系研究者、保存科学者らが共同で行った復元に関わる研究事例の報告を持ち寄り、相互理解と交流の深化を目的として研究会「絵画の再生 改装・復元・復元根拠」を企画開催した。研究会では 「復元思想と絵画の『写し』」 「御後絵の復元 絵画復元と写真資料」 「佐竹本三十六歌仙絵の諸問題 画風・復元・伝来」 「月次祭礼図の復元について」という4件の研究発表が行われ、特に では愛知県立芸術大学が復元した「月次祭礼図屏風」の現物展示を交えて、発表者と参加者が活発な意見交換を行った。参加者は50 名を超え、異分野の研究者が一堂に会することで様々な新知見が得られるとともに、復元の学術的利用に成果を上げることができた。

(4)実技や保存修復に関わる教材作成

学生や若手研究者への教育普及を目的として、ワークショップや大学での講義に活用できる動画教材、スライド作成にも取り組んだ。特に言葉だけでは説明が難しい表装や修理技術に関しては、「屏風の作り方」「巻子の作り方」「掛軸の作り方」等のスライド教材として整備した。また、日本画実技に関しては基本的な絵具の溶き方や箔技法、裏打ち等について、日本画家の実演を記録した動画コンテンツを作成し、研究者間での共有化を進めた。

ワークショップで使用する教材については代表者と分担者が各自の専門性を活かし、効率的に作成することができた。動画やパワーポイントのフォーマットが出来たため、今後の教材作成にも活用できる見込みであり、コンテンツを増やすとともに多言語化も視野に入れている。今後のコンテンツ作りには本研究で築いた人脈を活かし、様々な分野の専門家からの意見や要望を反映していける見込みである。

(5)総括

本研究は絵画の復元工程のうち、特にく復元根拠> の選定に焦点を当て、調査とワークショップ開催を通して問題点の指摘と解決を図ってきた。研究期間全体を通して、美術史・実技・科学の研究者が分野を越えて絵画の復元について論議し、復元研究の学術的水準の向上を目指す協力体制を構築することができた。特に前身研究から継続して開催してきたワークショップには若手研究者や学生らの継続的・意欲的な参加が見られ、着実に人的交流を深めることができたといえる。最終年度には研究分野の垣根を超えて復元事例の成果と課題を報告し、充実した内容の研究会を開催することができた。

今後、文化財保存や教育普及、文化外交、美術史研究など様々な現場で、絵画の復元研究はさらに重要な意義を持つことが予想されるが、需要の増加に対して復元の芸術的水準のみならず、復元根拠の選択の妥当性といった学術的価値もしっかりと担保しながら制作に当たること、そして情報の公開・共有・継承の道筋を整えていくことが求められる。本研究ではその担い手となる研究者、実技者、科学者、博物館関係者らのネットワーク作りに寄与することができたと考える。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計10件(うち査読付論文 3件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 2件)

1.著者名 	4.巻 No.201
2 . 論文標題 本物を超える - クローン文化財 -	5 . 発行年 2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Re	42-45
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4 . 巻
- 「名句句 - 原野佳世子	4 · 당 13
2.論文標題 山梨県立博物館所蔵《法然上人絵伝》修理から得られた技法材料に関する知見	5.発行年 2019年
3.雑誌名 山梨県立博物館 調査・研究報告	6.最初と最後の頁 40-51
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	- 4.巻 53
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	_
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題	53. 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 宝蔵絵の再生 伏見宮貞成親王による「放屁合戦絵巻」転写と画中詞染筆 3 . 雑誌名	53 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 宝蔵絵の再生 伏見宮貞成親王による「放屁合戦絵巻」転写と画中詞染筆 3 . 雑誌名 説話文学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	53 5. 発行年 2018年 6. 最初と最後の頁 115-122 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 宝蔵絵の再生 伏見宮貞成親王による「放屁合戦絵巻」転写と画中詞染筆 3 . 雑誌名 説話文学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	53 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 115-122 査読の有無 有 国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 宝蔵絵の再生 伏見宮貞成親王による「放屁合戦絵巻」転写と画中詞染筆 3 . 雑誌名 説話文学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	53 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 115-122 査読の有無 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 宝蔵絵の再生 伏見宮貞成親王による「放屁合戦絵巻」転写と画中詞染筆 3 . 雑誌名 説話文学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	53 5. 発行年 2018年 6. 最初と最後の頁 115-122 査読の有無 有 国際共著 - 4. 巻 53 5. 発行年 2018年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 宝蔵絵の再生 伏見宮貞成親王による「放屁合戦絵巻」転写と画中詞染筆 3 . 雑誌名 説話文学 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題	53 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 115-122 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 53 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 宝蔵絵の再生 伏見宮貞成親王による「放屁合戦絵巻」転写と画中詞染筆 3 . 雑誌名 説話文学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 画中詞研究への視座 絵と言葉のナラトロジー 3 . 雑誌名	53 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 115-122 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 53 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 宝蔵絵の再生 伏見宮貞成親王による「放屁合戦絵巻」転写と画中詞染筆 3 . 雑誌名 説話文学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 画中詞研究への視座 絵と言葉のナラトロジー 3 . 雑誌名 説話文学	53 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 115-122 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 53 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 101-103
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 宝蔵絵の再生 伏見宮貞成親王による「放屁合戦絵巻」転写と画中詞染筆 3 . 雑誌名 説話文学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 画中詞研究への視座 絵と言葉のナラトロジー 3 . 雑誌名 説話文学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	53 5. 発行年 2018年 6. 最初と最後の頁 115-122 査読の有無 有 国際共著 - 4. 巻 53 5. 発行年 2018年 6. 最初と最後の頁 101-103

	1
1.著者名	4 . 巻
[[[] [] [] [] [] [] [] [] []	展覧会図録
2 . 論文標題	5.発行年
クローン文化財の意義	2017年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
シルクロード特別企画展 素心伝心	13-18
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
3 2 2 7 C C C C C C C C C C C C C C C C C	
1.著者名	4 . 巻
「一個日日	98号
焗虾住巴士	90년
2 生命中 福田	F 整仁生
2.論文標題	5 . 発行年
春日厨子絵制作報告	2017年
	6 840 8 77
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
春日	22-23
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
1.著者名 山本聡美	_
1.著者名 山本聡美	4.巻 3号
山本聡美	3号
山本聡美2.論文標題	3号 5.発行年
山本聡美 2.論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of	3号
山本聡美 2.論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses	3号 5.発行年 2018年
山本聡美 2.論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3.雑誌名	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
山本聡美 2.論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses	3号 5.発行年 2018年
山本聡美 2.論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3.雑誌名	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
U本聡美 2 .論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3 .雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q)	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85
山本聡美 2. 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3. 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q)	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85
U本聡美 2 .論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3 .雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q)	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85
山本聡美 2. 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3. 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有
山本聡美 2. 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3. 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85
山本聡美 2. 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3. 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有
山本聡美 2.論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3.雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有 国際共著
山本聡美 2. 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3. 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有
山本聡美 2. 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3. 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有 国際共著
山本聡美 2. 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3. 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有 国際共著
山本聡美 2. 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3. 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有 国際共著
山本聡美 2.論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3.雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 山本聡美	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24号 5 . 発行年
山本聡美 2.論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3.雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 山本聡美 2.論文標題	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有 国際共著
山本聡美 2. 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3. 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 山本聡美 2. 論文標題 共立女子大学図書館所蔵絵巻の基礎的研究「竹取物語絵巻」「利仁草紙」「異疾之巻物(病草紙模本)」	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24号 5 . 発行年 2018年
山本聡美 2 . 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3 . 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 共立女子大学図書館所蔵絵巻の基礎的研究 「竹取物語絵巻」「利仁草紙」「異疾之巻物(病草紙模本)」 「鳥羽 3 . 雑誌名	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
山本聡美 2 . 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3 . 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 共立女子大学図書館所蔵絵巻の基礎的研究 「竹取物語絵巻」「利仁草紙」「異疾之巻物(病草紙模本)」「鳥羽	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24号 5 . 発行年 2018年
山本聡美 2 . 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3 . 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 共立女子大学図書館所蔵絵巻の基礎的研究 「竹取物語絵巻」「利仁草紙」「異疾之巻物(病草紙模本)」 「鳥羽 3 . 雑誌名	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
山本聡美 2 . 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3 . 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 共立女子大学図書館所蔵絵巻の基礎的研究「竹取物語絵巻」「利仁草紙」「異疾之巻物(病草紙模本)」 「鳥羽 3 . 雑誌名 共立女子大学総合文化研究所紀要	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 140-186
山本聡美 2 . 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3 . 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 共立女子大学図書館所蔵絵巻の基礎的研究「竹取物語絵巻」「利仁草紙」「異疾之巻物(病草紙模本)」「鳥羽 3 . 雑誌名 共立女子大学総合文化研究所紀要	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 140-186
山本聡美 2 . 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3 . 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 共立女子大学図書館所蔵絵巻の基礎的研究「竹取物語絵巻」「利仁草紙」「異疾之巻物(病草紙模本)」 「鳥羽 3 . 雑誌名 共立女子大学総合文化研究所紀要	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 140-186
山本聡美 2 . 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3 . 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 共立女子大学図書館所蔵絵巻の基礎的研究 「竹取物語絵巻」「利仁草紙」「異疾之巻物(病草紙模本)」「鳥羽 3 . 雑誌名 共立女子大学総合文化研究所紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://id.nii.ac.jp/1087/00003181/	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 国際共著 - 4 . 巻 24号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 140-186 査読の有無 無
山本聡美 2 . 論文標題 Futanari, Between and Beyond: From Male Shamans to Hermaphrodites in The Illustrated Scroll of Illnesses 3 . 雑誌名 Journal of Asian Humanities at Kyushu University (JAH-Q) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) http://hdl.handle.net/2324/1916274 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 山本聡美 2 . 論文標題 共立女子大学図書館所蔵絵巻の基礎的研究「竹取物語絵巻」「利仁草紙」「異疾之巻物(病草紙模本)」「鳥羽 3 . 雑誌名 共立女子大学総合文化研究所紀要	3号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 77-85 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 140-186

1 . 著者名 山本聡美	4.巻 430
2. 論文標題 「妙法蓮華経変相図」(静嘉堂文庫蔵)にみる南宋時代寧波の信仰と社会	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 美術研究	6.最初と最後の頁 49-58
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス	有 国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名 山本聡美	4.巻 65
2.論文標題 フリーア美術館所蔵「地蔵菩薩霊験記絵巻」第一話の主題 女性の罪業としての嫉妬と諍い	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 早稲田大学大学院 文学研究科紀要	6.最初と最後の頁 347-359
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
〔学会発表〕 計16件(うち招待講演 4件/うち国際学会 5件)	
1 . 発表者名 京都絵美	
2. 発表標題 絹本著色技法の史的展開について 仁和寺所蔵孔雀明王像をめぐる一考察	
3. 学会等名 東京文化財研究所文化財情報資料部研究会	
4 . 発表年 2018年	
1.発表者名	
山本聡美	
2 . 発表標題 蓮華王院宝蔵「六道絵」の新解釈 阿修羅道としての「辟邪絵」	

3. 学会等名 国際シンポジウムBorders, Performance, and Deities (境界, 芸能、神仏)於:コロンビア大学(国際学会)

4 . 発表年 2019年

1.発表者名 山本聡美
· ···································
3 . 学会等名
北京日本学研究センター絵巻セミナー 於:北京外国語大学(招待講演)(国際学会)
2019年
1.発表者名 山本聡美
病苦図像の源流 静嘉堂文庫蔵「妙法蓮華経変相図」について
3 . 学会等名
東京文化財研究所2018年度第7回研究会
2018年
1.発表者名 山本聡美
これでは 1 1 1 1 1 1 1 1 1
第87 回日本法医学会学術関東地方集会(招待講演)
│ │ 4.発表年
1.発表者名 鴈野佳世子
2 : 光衣標題 日本絵画の復元における技法材料の重要性
ワークショップ「復元研究と技法材料」
4.発表年
4 · 元农中

1
小 即 ii
2.発表標題
絹本仏画の技法と表現
3.学会等名
ワークショップ「復元研究と技法材料」
4.発表年
2017年
1.発表者名
水形成大
2.発表標題
「技法・材料からみた日本絵画」
う・テムマロ 川崎市教育委員会文化財ボランティア養成講座(招待講演)
/ Teach 2大人人にあいファイト Riving)
4.発表年
2017年
1.発表者名
山本聡美
2.発表標題
宝蔵絵の再生 伏見宮貞成親王による「放屁合戦絵巻」転写と画中詞染筆
3 . 子云寺石 説話文学会
2017年
1.発表者名
山本聡美
ここれでは 近世合戦図の図像学 大阪歴史博物館蔵「関ケ原合戦図屏風」を中心に
THE RESERVE AND THE PROPERTY OF THE PROPERTY O
3.学会等名
軍記と語り物研究会

1 . 景表報音 山本販券 2 . 紫来推題 The Resurgence of a Picture Scroll from the Rengeo-in Treasury: Prince Sadafusa's Copy of and Insertion of Poems within The Illustrated Scroll of the Battle of Breaking find 3 . 字念等名 Movement and Nateriality in Japanese Art, The Mary Griggs Burke Center for Japanese Art, Columbia University (招待議漢) (国際学金) 4 . 東京年 2 . 景表報名 京都始美 2 . 景表報題 「研究会・绘画の再生 改装・復元・復元根拠> 4 . 京教等名 研究会・绘画の再生 改装・復元・復元根拠> 4 . 京教等 3 . 字会等名 研究会・绘画の再生 改装・復元・復元根拠> 4 . 景表報 「調味施の復元 絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4 . 景表報 「研究会・绘画の再生 改装・後元・後元根拠> 4 . 景表報 2 . 景表報題 3 . 字会等名 研究会・绘画の再生 改装・後元・後元根拠> 4 . 景表年 2 . 景表報 2 . 景表報程題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 字会等名 Columbia University-Raseda University Symposium/Norkshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 景表年 Columbia University-Raseda University Symposium/Norkshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 景表年	
2 . 発表構塑 The Resurgence of a Picture Scroll from the Rengeo-in Treasury: Prince Sadafusa's Copy of and Insertion of Poems within The Illustrated Scroll of the Battle of Breaking Wind 3 . 学会等名 Movement and Materiality in Japanese Art, The Mary Griggs Burke Center for Japanese Art, Columbia University (招待講演) (国際学金) 4 . 発表样 2018年 1 . 异表有名 京都論美 2 . 孫表標題 備元組定と絵画の「写し」 3 . 学会者名 原和の再生 改装・億元・億元根拠> 4 . 発表年 2019年 1 . 异表有名 配別信世 2 . 张表標題 衛徒節の復元 絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4 . 発表年 2019年 1 . 异表有名 配別信世 3 . 学会者名 同家会・絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4 . 発表年 2019年 1 . 异表有名 和家会・絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 3 . 学会者名 イ ・	
The Resurgence of a Picture Scroll from the Rengeo-in Treasury: Prince Sadafusa's Copy of and Insertion of Poems within The Illustrated Scroll of the Battle of Breaking Wind 3. 学会等名 Movement and Materiality in Japanese Art, The Mary Griggs Burke Center for Japanese Art, Columbia University(招待講演)(国際学会) 4. 現表年 2016年 1. 現表書名 研究会〈絵画の再生 改裝・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 1. 現表書名 屬野住世子 2. 発表権題 微樂絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会〈絵画の再生 改裝・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 1. 現表書名 「研究会〈絵画の再生 改装・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 1. 現表書名 「研究会〈報画の再生 改装・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 2. 現表構題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Naseda University Symposium/Vorkshop in Japanese Literary and Visual Studies(国際学会) 4. 死表年	山本聡美
The Resurgence of a Picture Scroll from the Rengeo-in Treasury: Prince Sadafusa's Copy of and Insertion of Poems within The Illustrated Scroll of the Battle of Breaking Wind 3. 学会等名 Movement and Materiality in Japanese Art, The Mary Griggs Burke Center for Japanese Art, Columbia University(招待講演)(国際学会) 4. 現表年 2016年 1. 現表書名 研究会〈絵画の再生 改裝・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 1. 現表書名 屬野住世子 2. 発表権題 微樂絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会〈絵画の再生 改裝・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 1. 現表書名 「研究会〈絵画の再生 改装・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 1. 現表書名 「研究会〈報画の再生 改装・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 2. 現表構題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Naseda University Symposium/Vorkshop in Japanese Literary and Visual Studies(国際学会) 4. 死表年	
The Resurgence of a Picture Scroll from the Rengeo-in Treasury: Prince Sadafusa's Copy of and Insertion of Poems within The Illustrated Scroll of the Battle of Breaking Wind 3. 学会等名 Movement and Materiality in Japanese Art, The Mary Griggs Burke Center for Japanese Art, Columbia University(招待講演)(国際学会) 4. 現表年 2016年 1. 現表書名 研究会〈絵画の再生 改裝・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 1. 現表書名 屬野住世子 2. 発表権題 微樂絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会〈絵画の再生 改裝・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 1. 現表書名 「研究会〈絵画の再生 改装・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 1. 現表書名 「研究会〈報画の再生 改装・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 2. 現表構題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Naseda University Symposium/Vorkshop in Japanese Literary and Visual Studies(国際学会) 4. 死表年	
The Resurgence of a Picture Scroll from the Rengeo-in Treasury: Prince Sadafusa's Copy of and Insertion of Poems within The Illustrated Scroll of the Battle of Breaking Wind 3. 学会等名 Movement and Materiality in Japanese Art, The Mary Griggs Burke Center for Japanese Art, Columbia University(招待講演)(国際学会) 4. 現表年 2016年 1. 現表書名 研究会〈絵画の再生 改裝・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 1. 現表書名 屬野住世子 2. 発表権題 微樂絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会〈絵画の再生 改裝・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 1. 現表書名 「研究会〈絵画の再生 改装・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 1. 現表書名 「研究会〈報画の再生 改装・復元・復元根拠〉 4. 現表年 2019年 2. 現表構題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Naseda University Symposium/Vorkshop in Japanese Literary and Visual Studies(国際学会) 4. 死表年	2.発表標題
Illustrated Scroll of the Battle of Breaking Wind 3. 学会等名 Movement and Materiality in Japanese Art, The Mary Griggs Burke Center for Japanese Art, Columbia University (招待講演) (国際学会) 4. 景表年 2018年 7. 景表複節 模元思想と絵画の「写し」 8. 景表音 研究会・絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 9. 景表書名 所容を Mary Griggs Burke Center for Japanese Art, Columbia University (招待講演) (国際学会) 9. 景表書名 原教をの確認の再生 改装・復元・復元根拠> 1. 景表書名 原教をの確認の再生 改装・復元・復元根拠> 1. 景表書名 原教を Read	The Resurgence of a Picture Scroll from the Rengeo-in Treasury: Prince Sadafusa's Copy of and Insertion of Poems within The
Movement and Materiality in Japanese Art, The Mary Griggs Burke Center for Japanese Art, Columbia University (招待講演) (国際学会) 4. 発表年 2018年 2月	Illustrated Scroll of the Battle of Breaking Wind
Movement and Materiality in Japanese Art, The Mary Griggs Burke Center for Japanese Art, Columbia University (招待講演) (国際学会) 4. 発表年 2018年 2月	
Movement and Materiality in Japanese Art, The Mary Griggs Burke Center for Japanese Art, Columbia University (招待議演) (国際学会) 4. 発表年 2018年 2	
際学会) 4 ・発表年 2019年 1 ・発表者名 京都絵美 2 ・発表標題 復元思想と絵画の「写し」 3 ・学会等名 研究会 <絵画の再生 改美・復元・復元根拠> 4 ・発表者名 属野佳世子 2 ・発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3 ・学会等名 研究会 <絵画の再生 改美・復元・復元根拠> 4 ・発表者 2019年 1 ・発表者名 属野佳世子 2 ・発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3 ・学会等名 山本聡美 4 ・発表者名 山本聡美 2 ・発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 ・学会等名 Columbia University・Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 ・発表年	
発表年 2018年	
1. 発表者名 京都絵美 2. 発表標題 復元思想と絵画の「写し」 3. 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表者名 脳野佳世子 2. 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 加野佳世子 3. 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 山本聡美 2. 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4. 発表年	
京都絵美 2 . 発表標題 復元思想と絵画の「写し」 3 . 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4 . 発表者名 腐野住世子 2 . 発表構題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3 . 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4 . 発表年 2019年 1 . 発表名 加本戦美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
2 . 発表標題 復元思想と絵画の「写し」 3 . 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠 > 4 . 発表年 2019年 2 . 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3 . 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠 > 4 . 発表年 2 . 発表標題 加本聡美 1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	1.発表者名
名元思想と絵画の「写し」 3. 学会等名 研究会 く絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 層野住世子 2. 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会 く絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 山本聡美 2. 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4. 発表年	京都絵美
名元思想と絵画の「写し」 3. 学会等名 研究会 く絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 層野住世子 2. 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会 く絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 山本聡美 2. 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4. 発表年	
名元思想と絵画の「写し」 3. 学会等名 研究会 く絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 層野住世子 2. 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会 く絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 山本聡美 2. 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4. 発表年	
名元思想と絵画の「写し」 3. 学会等名 研究会 く絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 層野住世子 2. 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会 く絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 山本聡美 2. 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4. 発表年	2
3 . 学会等名 研究会、絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 属野佳世子 2 . 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3 . 学会等名 研究会、絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
研究会 <絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 隔野住世子 2. 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会 <絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 山本聡美 2. 発表構題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4. 発表年	
研究会 <絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 隔野住世子 2. 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会 <絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 山本聡美 2. 発表構題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4. 発表年	
研究会 <絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 隔野住世子 2. 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会 <絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 山本聡美 2. 発表構題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4. 発表年	
4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 属野佳世子 2 . 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3 . 学会等名 研究会 <絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表構題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
2. 発表者名 属野住世子 2. 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会 <絵画の再生 改装・復元・復元根拠 > 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 山本聡美 2. 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4. 発表年	研究会<絵画の再生 改装・復元・復元根拠>
2. 発表者名 属野住世子 2. 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会 <絵画の再生 改装・復元・復元根拠 > 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 山本聡美 2. 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4. 発表年	4
1. 発表者名 属野佳世子 2. 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3. 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠 > 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 山本聡美 2. 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3. 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4. 発表年	
編野住世子 2 . 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3 . 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	۷۱۱۵ ۲
編野住世子 2 . 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3 . 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠> 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	1,発表者名
2 . 発表標題 御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3 . 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠 > 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3 . 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠 > 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3 . 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠 > 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
御後絵の復元 絵画復元と写真資料 3 . 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠 > 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
3 . 学会等名 研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠 > 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠 > 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	御伎紜のほ元
研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠 > 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠 > 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
研究会 < 絵画の再生 改装・復元・復元根拠 > 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	3 . 学会等名
1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	2019年
山本聡美 2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	1
2 . 発表標題 A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	山坐짜天
A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings 3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies (国際学会) 4 . 発表年	
3 . 学会等名 Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies(国際学会) 4 . 発表年	
Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies(国際学会) 4.発表年	A journey to religious awakening: illnesses and pilgrimages depicted in medieval Buddhist paintings
Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies(国際学会) 4.発表年	
Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies(国際学会) 4.発表年	
Columbia University-Waseda University Symposium/Workshop in Japanese Literary and Visual Studies(国際学会) 4.発表年	2. 学 <u>今</u> 至夕
4.発表年	
	oordinate only of other office of the control of t
	4.発表年

2. 発表標題 力通説から八道説への転換 中世八道絵における同様羅図像の成立 3. 学会等名 PNJS(Premodern Japanese Studies Network) Conference.McSill University (国際学会) 4. 無表年 2019年 1. 発表者名 山本聡美 3. 学会等名 早稲田大学美術史学会 4. 無表年 2019年 (図園) 計3件 1. 茶者名 山本 聡美 4 . 飛行年 2018年 2. 出版社 対障講房 5 . 蛇ページ数 224 3. 霊名 州の日本美術 4 . 飛行年 2017年 1. 恐者名 加須屋誠・山本聡美線 5 . 蛇ページ数 2017年 2. 出版社 中央公論美術出版 5 . 蛇ページ数 2017年	1.発表者名 山本聡美	
PMJS(Premodern Japanese Studies Network) Conference, McSill University (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 山本聡美 2. 発表標題 鬼神道から阿修羅道へ 静邪絵再考 3. 学会寄名 早稲田大学美術史学会 4. 発表年 2019年 1. 著者名 山本 聡美 4. 発行年 2018年 2. 出版社 筑庫書房 5. 総ページ数 224 3. 書名 間の日本美術 4. 発行年 2017年 2. 出版社 介理経過・山本聡美鏡 5. 総ページ数 2017年 3. 書名 中央公論美術出版 5. 総ページ数 2017年		
1 . 発表者名 山本聡美 2 . 発表標題 鬼神道から阿修羅道へ 辟邪絵再考 2 . 発表標題 鬼神道から阿修羅道へ 辟邪絵再考 2 . 出版社 2 . 出版社 3 . 第名名 1 . 著者名 3 . 書名 1 . 著者名 3 . 書名 1 . 那項屋誠・山本聡美編 2 . 出版社 3 . 書名 3 . 言和 3 . 言和	PMJS(Premodern Japanese Studies Network) Conference,McGill University(国際学会)	
山本聡美 2 . 発表標題 鬼神道から同修羅道へ 辟邪絵再考 3 . 学会等名 早稲田大学美術史学会 4 . 発表年 2019年 (図書) 計3件 1 . 著者名 山本 聡美 2 . 出版社 筑摩書房 3 . 書名 間の日本美術 1 . 著者名 加須屋誠・山本聡美編 2 . 出版社 中央公論美術出版 3 . 書名 3 . 書名 3 . 書名		
鬼神道から阿修羅道へ 辟邪絵再考 3 . 学会等名 早稲田大学美術史学会 4 . 発表年 2019年 (図書) 計3件 1 . 著者名 山本 聡美 4 . 発行年 2018年 2 . 出版社 筑摩書房 5 . 総ページ数 224 3 . 書名 間の日本美術 4 . 発行年 2017年 2 . 出版社 中央公論美術出版 5 . 総ページ数 259 3 . 書名 5 . 総ページ数 259		
早稲田大学美術史学会 4 . 発表年 2019年 (図書) 計3件 1 . 著者名 山本 聡美 2 . 出版社	2.発表標題 鬼神道から阿修羅道へ 辟邪絵再考	
(図書) 計3件 1 . 著者名 山本 聡美 4 . 発行年 2018年 2 . 出版社 筑摩書房 5 . 総ページ数 224 3 . 書名 間の日本美術 4 . 発行年 2017年 2 . 出版社 中央公論美術出版 5 . 総ページ数 259 3 . 書名 5 . 総ページ数 259		
1 . 著者名 山本 聡美 4 . 発行年 2018年 2 . 出版社 筑摩書房 5 . 総ページ数 224 3 . 書名 間の日本美術 4 . 発行年 2017年 1 . 著者名 加須屋誠・山本聡美編 4 . 発行年 2017年 2 . 出版社 中央公論美術出版 5 . 総ページ数 259 3 . 書名 5 . 総ページ数 259		
山本 聡美 2018年 2. 出版社 筑摩書房 5. 総ページ数 224 3. 書名 闇の日本美術 4. 発行年 2017年 1. 著者名 加須屋誠・山本聡美編 5. 総ページ数 259 2. 出版社 中央公論美術出版 5. 総ページ数 259		
筑摩書房 224 3 . 書名 間の日本美術 1 . 著者名 4 . 発行年 加須屋誠・山本聡美編 2 . 出版社 2 . 出版社 5 . 総ページ数 中央公論美術出版 259		
間の日本美術 1 . 著者名 加須屋誠・山本聡美編 4 . 発行年 2017年 2 . 出版社 中央公論美術出版 5 . 総ページ数 259 3 . 書名 3 . 書名		
加須屋誠・山本聡美編 2017年 2.出版社中央公論美術出版 5.総ページ数 259 3.書名 3.書名		
中央公論美術出版 259 3 . 書名	1 . 著者名 加須屋誠・山本聡美編	
	中央公論美術出版	

1.著者名 山本聡美	4 . 発行年 2020年
2 444574	Γ
2.出版社 吉川弘文館	5 . 総ページ数 ⁴⁷⁶
2 #4	
3 . 書名 中世仏教絵画の図像誌	

〔産業財産権〕

〔その他〕

_

6. 研究組織

0	.丗允組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	山本 聡美	早稲田大学・文学学術院・教授	
研究分担者			
	(00366999)	(32689)	
	京都 絵美	東京藝術大学・学内共同利用施設等・講師	
研究分担者			
	(40633441)	(12606)	